

輝く未来創造委員会

1. 構成員
- | | |
|------|----------------|
| 委員長 | 和田芽衣 |
| 副委員長 | 石川丈晃 伊藤真一 峰 佳久 |
| 委員 | 川森洋佑 栗原祐樹 高野裕康 |

1. 予算額 未定

1. 運営方針

近年、多様性という言葉は性別・年齢・国籍・障害といった属性や、価値観・ライフスタイルといった思考に関することなど様々な場面で使われています。中でも自ら声を挙げられる当事者の数が少ない障害者については、より意識的に社会が目を向けなければなりません。飯能市と日高市の施策の中には、障害者就労や雇用の課題解決が必要であると明記されています。また企業には一定数の障害者雇用が求められていますが、採用障壁が高いと捉えている企業も少なくありません。加えて1年以内の離職率が高いというデータもあります。誰もが輝ける多様性のあるまちへの一歩として、企業が抱く障害者雇用への障壁を下げると同時に就労定着率の向上を目指す必要があります。

本委員会では、地域において障害者就労に取り組む様々な立場の関係者らとプロジェクトチームを作り、1年を通じて共に活動を行ないます。主な取り組みは3つです。飯能市と日高市の障害者雇用についてのリサーチ、現場を知る機会の提供として障害者雇用定着率の高い企業への視察、そして障害者雇用トライアルのための受け入れ先企業の開拓です。データリサーチと現場へのヒアリングを並行して行うことで地域の現状を正しく理解し、より地域に根ざした適切な運動展開を行えるでしょう。また本委員会による一連の取り組みを、市民にも身近に感じられるよう運動を展開していきます。

本委員会の運動を通じて企業は障害者雇用の理解を深め、積極的な雇用につなげる機会に、そして障害当事者は自身がやりたい仕事を見つける機会となり、働きがいに繋がるでしょう。また幅広い年齢、多様なメンバーによって地域の社会課題に取り組む本委員会の運動は、地域課題への市民参画を活発化させるムーブメントの起点になると確信します。

1. 事業計画

- ① 賀詞交歓会
- ② 例会3回 ※商工会議所協賛事業を含む
- ③ 3分間スピーチ